

安心・安全な京都づくりを支える治水対策の促進について

【担当省庁】国土交通省

由良川緊急水防災対策の早期完成や事業計画期間の短縮をはじめとする直轄管理河川の治水対策の促進

◆ 本年 9 月の台風は、平成 16 年台風 23 号の総雨量を超える記録的豪雨を京都府全域にもたらし、由良川水系、淀川水系桂川、宇治川、木津川流域で甚大な被害が発生した。特に、由良川水系では、平成 16 年台風 23 号による最高水位を超える洪水が発生し、福知山市等では、ここ 9 年間の間に 2 度も甚大な被害を被っているため、**次のとおり事業を促進**していただきたい。

○由良川浸水被害の早期軽減、解消を図るためのスピード感ある対策の実施

- ・下流部の緊急水防災対策の平成 26 年度事業完了
- ・中流部の連続堤防の早期完成
- ・平成 25 年 6 月に策定された河川整備計画に位置づけられた事業の計画期間（概ね 30 年）を可能な限り短縮

○桂川（嵐山地区、羽東師地区）、鴨川の溢水解消のため、流下能力が特に低い区間の河川改修の実施

- ・大下津地区、羽東師地区、桂上野地区の直轄河川改修事業の促進
- ・嵐山地区の治水対策と環境・景観・観光等が調和した整備を進めるための早期の計画策定

○宇治川、山科川の水位低減、洪水期間の短縮を図る施策の実施

- ・天ヶ瀬ダム再開発事業の促進
- ・塔の島地区の改修の促進
- ・堂ノ川（木幡池）等のポンプ排水を含めた内水対策の検討と対策の具体化

○洪水時の木津川堤防の安全性の確保、向上

- ・堤防強化等の治水対策の推進
- ・沿川の八幡市、木津川市、井手町等のポンプ排水を含めた内水対策の検討と対策の具体化

○ 三川合流部をはじめ淀川・由良川直轄河川管理施設の耐震・軟弱地盤対策の実施

◆ 木津川等の治水対策を迅速・的確に進めるため、上流の**川上ダム等の検証**について、**早期に結論**を出していただきたい。

◆ 治水対策の実施に当たっては、景勝地等に配慮した、良好な河川空間の創出に努めていただきたい。

由良川関連河川等の改修のための「防災・安全交付金」の確保

- ◆ 由良川改修に関連して早期整備が必要となる府管理河川（宮川、大谷川、相長川ほか）や治水安全度の早期確保が必要な府管理河川（桂川、鴨川、園部川、福田川ほか）の改修に対する平成 26 年度の「防災・安全交付金」の予算を十分確保していただきたい。

古川の「床上浸水対策特別緊急事業」への採択

- ◆ 古川の「床上浸水対策特別緊急事業」を平成 26 年度に採択していただきたい。

天井川対策の「応急対策事業」への採択

- ◆ 京都府では、川底が周辺地盤より高い天井川の数が 23 河川と全国で 2 番目に多く、その大半は府南部の人家が集中する市街地であり、一度天井川が決壊すれば被害が甚大になることから、青谷川などの天井川の改修を促進するため、平成 26 年度に新たに予算化が検討されている「応急対策事業」において、天井川の老朽化した護岸の強化等を補助対象にしていただきたい。
- ◆ 京都府管理河川の改修・維持更新の推進に必要な事業費を措置していただきたい。

<国土交通省の概算要求>

◎大規模水害等に備えた治水対策 3, 697 億円

国民の生活の安全・安心を確保するため、災害の起こりやすさや災害が発生した際に想定される被害の程度を考慮し、抜本的な治水安全度の向上に寄与する対策や堤防強化対策など予防的な治水対策を重点的に実施する。また、激甚な水害が発生した地域において再度災害防止対策を集中的に実施する。

◎激甚な水害・土砂災害を契機に緊急的に実施する災害対策 1, 487 億円

激甚な水害・土砂災害や、床上浸水が頻発するなど繰り返しの水害の発生により、人命被害や国民の生活に大きな支障が生じている地域において、被害の防止・軽減を図るため、集中的に事業を実施するとともに、より迅速な危機管理対応が的確に図られるよう、警戒避難の支援体制を強化する。

また、近年の水害の発生等を踏まえ、全国において同様な被害の発生の防止・軽減を図るため、堤防の緊急点検結果に基づく緊急対策等を実施する。

【京都府の担当部局】

建設交通部 河川課 075-414-5282